



映画「いしゃ先生」冬ロケのシーンから

映画「いしゃ先生」の冬期撮影が2月6日から8日にかけて行われました。

2月7日は、大江町の柳川地内で冬期ロケの中でも最も大きな見せ場となる患者を箱ゾリで搬送するシーンの撮影が行われました。

この日、県内各地から応募のあった20名のエキストラの方々も撮影に参加し、早朝から夕方遅くまで緊張の続く撮影が行われました。



映画「いしゃ先生」撮影エキストラに参加して

川西町 鈴木勇介さん

映画のロケを見ること自体、人生で初めてですが、一つの作品に随分と多くの人に関わっていることを実感しました。ロケ現場の緊張感がひしひしと伝わり、同じ場面を何度も繰り返し演じたり、映像と音を別に撮ったり、人工的に吹雪を見せたり、これまでは出来た作品を見るだけでしたがその裏で多くの時間と労力がかけられていることを実感しました。これから映画を見るときは少しだけ創る側の見方も出来て、楽しみが増えると思います。

大井沢の診療所のロケでは近くの温泉施設をロケ隊の控え室として使っていたのですが、志田周子先生のパネル展示があり、今尚、先生を慕う皆さんの想いを垣間見ることができました。



この日は“あいにくの好天”となり、風吹を作り出す巨大な送風機が活躍しました。撮影、録音、美術、衣裳、メイクなど多くのスタッフが関わっています。

映画製作にご支援をお願いします

映画「いしゃ先生」は、このたびの冬期ロケをもって撮影はほぼ終了し、今後編集作業などを経て映画を完成させていくことになります。これまで町内外、県外の3,100を超す個人・法人の方々から約3,300万円の協賛金をいただき本当にありがとうございます。しかしながら、映画製作のためにもう少しの資金調達が必要です。企業様等の協賛金集約に取り組んでおりますが、町民の皆様からも再度になりますが、どうかご支援くださいますようお願いいたします。